

AICC

あいつく・にゅーす

NEWS

地域産業振興の新拠点として

明石市長 岡田 進裕



産業界に携わる皆様のご熟意とご努力によって、明石市産業振興財団が設立されましたことを心からお喜び申し上げます。

昨今の産業界を取り巻く情勢は、長期にわたる景気の低迷、それに追い打ちをかけるような通貨危機など国際情勢の不安、いまだに見通しのつかない金融システムの不安定さなど企業活動を展開する上で非常に厳しいものがあります。

その一方で21世紀に向けて、企業は情報化、技術革新の進展、国際化などの急激な社会を経

中小企業の技術振興をめざし

明石商工会議所会頭 安藤 昌廣



昨今の我が国経済は、バブル崩壊後の長引く景気低迷と金融システム不安を背景に、企業倒産や雇用情勢は益々深刻化するなど極めて厳しい状況にあります。

特に経営基盤が脆弱な中小企業を中心に経営環境は、未曾有の厳しさに直面しております。こうした情勢の中、産業の振興と地域の活性化拠点として明石市産業振興財団が設立されましたことは、中小企業を支援いたします商工会議所といたしましても誠に心強く感じており、心よりお喜びを申し上げます。

今後、明石市立産業交流センターが、市内

済構造の変化に対応していかなければなりません。

このような状況の中で、産業振興財団が設立されましたことは誠に意義深いものがあると考えております。

地域の発展は礎となる産業活動の担う役割が大きく、本市におきましても、こうした観点から第3次長期総合計画の中で産業振興の拠点施設として明石市立産業交流センターの建設を掲げ、この度開館の運びとなりました。産業振興財団が、産業交流センターを活動拠点として、産業交流の促進、人材育成、産

「明石の新しいシンボル」として

(財)明石市産業振興財団理事長 内橋 義和



待望の「明石市立産業交流センター」がめでたく開館されました。

JR大久保駅南地区の立地条件にも恵まれた場所に、立派な建物ができました。これまで数年間にわたり、産・官・学の代表が幾度も審議を重ね、その内容について練りに練った賜物であります。その船中小企業の技術振興の拠点として、中小企業と他企業、研究機関、専門家などの外部経営資源を引き合わせるコーディネート活動の充実を図られますことを、大いにご期待申し上げます。

明石商工会議所は、基本計画の策定や事業化検討の参画をはじめ基本財産となる基金集めなど、当初から財団設立に関わっており今後も商工会議所事業との調整、連携を図りながら支援してまいりたいと思っております。

業経済情報の収集・提供など時代の潮流に即した事業を展開することにより、その意図する目的が十分に達せられ、市内産業界の健全な発展が図られるとともに本市発展の牽引力となるものと確信しております。

今後も明石商工会議所をはじめ市内産業界の皆様と力を合わせ、産業振興財団を支援してまいりたいと考えております。

おわりに、明石市産業振興財団のご発展並びに関係各位のますますのご活躍とご健勝を祈念してお祝いのごことばを申し上げます。

出は長引く不況など決して順風満帆なものではありません。

明石市産業振興財団では、産業交流センターを活動拠点として、施設の管理運営はもちろん、地域産業振興のための各種事業を展開してまいります。

当財団はこの不景気にもかかわらず、地元企業や商店、市民の皆様の貴重な出資金により設立されたものであり、こうした方々のご厚意、ご期待に報いるためにも、産業振興に実りある成果をあげていかなければなりません。

明石海峡大橋と共に産業交流センターが「明石のシンボル」となるべく、内容の充実を図り、利用価値を高める運営を目指してまいります。

役員、スタッフ一同を引き締めて取り組む所存でございますので、何卒皆様のご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

財団法人明石市産業振興財団の紹介

1. 背景

産業交流センター基本構想が策定された平成3年当時から産業の空洞化など国際情勢の急激な変化、情報化の進展、消費者ニーズの変化など産業構造の大きな変革期が到来して

おりました。中小企業が多くを占める本市の産業界にとって今後さらなる地域経済力を高め、地域の発展を図るためには、こうした経済変化に対応する経営体質の改善、経営基盤の強化などの必要性が高まっており、このような背景の中で明石市では第

3次長期総合計画において

産業振興及び地域の活性化拠点として、(仮称)明石市産業交流センターの建設を掲げ、以降、計画の実現に向け事業を進めてきました。

2. 経緯

(平成4年度)

(仮称)明石市産業交流センター基本計画策定検討委員会(委員長:神戸大学経営学部教授 奥林康司氏)を設置し、施設の基本的な考え方をまとめました。

(平成5年度)

(仮称)明石市産業交流センター事業化検討委員会

(委員長:神戸大学経営学部教授 奥林康司氏)を設置し、事業内容、運営方法、施設内容などの考え方をまとめ、運営主体については産官学からなる財団法人が望ましいとの提言を得ました。

(平成6~7年度)

兵庫県、商工会議所など関係機関と協議を進め、財団設立に向けて、組織内容の検討を行いました。

(平成8~9年度)

財団設立に向け、産官学からなる(仮称)明石市産業振興財団設立準備会(会長:明石商工会議所副会頭内橋義和氏)を発足し、財団設立に向けての基本事項の審議を行いました。

(平成10年度)

財団法人設立発起人会を開催し、設立趣意、寄附行為、事業計画、収支計画等財団設立にかかる事項を決定しました。

発起人会の決定に基づいて、9月14日兵庫県知事に対して設立許可申請書を提出し、同月30日に設立許可があり、10月7日に法人登記を完了し、名実共に公益法人として発足しました。

3. 財団法人の概要

(1) 設立目的

明石市立産業交流センターを活動拠点とし、明石市における産業の振興を図るため、産業交流の促進、人材育成、産業経済情報の収集及び提供等を行い、もって地域経済の発展に寄与することを目的としています。

(2) 設立日

平成10年9月30日

(3) 事務所の所在

明石市大久保町ゆりのき通1丁目4番地の7(明石市立産業交流センター内)

(4) 基本財産

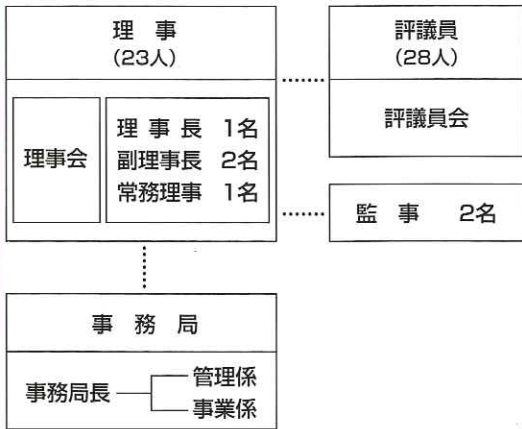
2億751万円

(5) 運営組織 運営組織図参照

(6) 主な事業内容

- ① 産業交流の促進に関する事業
- ② 人材育成に関する事業
- ③ 産業経済情報の収集及び提供に関する事業
- ④ 経営分野の相談及び助言に関する事業
- ⑤ 技術分野の相談及び指導に関する事業
- ⑥ 明石市立産業交流センターの管理運営に関する事業

運営組織図



センター付近地図



明石市立産業交流センター

オーブン・イベント開催

記念講演会

なぜ、あの企業は成功したか

中小企業のこれからの戦略

水野隆徳氏



徳氏を招き、現在の経済状況等を的確に分析し、今後の企業経営のあり方を探るための一助となるよう経営講演会を開催します。

21世紀を目前にし混乱が続く社会経済状況の中で、「サンデープロジェクト」（朝日放送系・日曜朝10時）などでおなじみの国際エコノミスト 水野隆

- 日 時 平成10年11月21日(土)
午後2時～午後3時30分
- 会 場 明石市立産業交流センター・多目的ホール（2階）
- 対象者 市内企業、一般市民
- 定 員 250名程度（ただし、定員になり次第締め切ります。）
- 参加費 無料
- 主 催 明石市、(財)明石市産業振興財団
- 後 援 明石商工会議所

「98AKASHIテクノフェア」
（あかし産業フェスティバル）

11月27日(金)～28日(土)開催

厳しい社会経済状況の中で、企業には高度技術化、情報化、国際化などに対応した経営基盤の強化が求められています。

「98AKASHIテクノフェア」はその変革の時代に対応する地元企業が結集したものです。

日本を代表する大手企業から地域を支える中小企業が多数立地する地元明石の優れた製品、技術等を一堂に展示し、企業や市民の皆様にご紹介します。

ビジネスチャンスの拡大とともに地域産業のパワーを認識していただき、地域にお住まいの皆様との共存共栄を図るためのものです。

フェアでは企業の製品などの展示をはじめ明石高専によるロボット実演・技術講習会、パソコン無料体験、特別セミナー、地ビール・お菓子などの即売の他、出展企業のご協力により、豪華景品が当たる抽選会を行います。

- 日 時 平成10年11月27日(金)～28日(土)
午前10時～午後5時
- 会 場 明石市立産業交流センター・展示場（1階）ほか
- 入 場 無料
- 主 催 明石市、(財)明石市産業振興財団
- 共 催 明石商工会議所、明石工業高等専門学校
- 後 援 兵庫県、郵政省通信総合研究所関西支所、明石工業会、日刊工業新聞社、神戸新聞社、(株)明石ケーブルテレビ

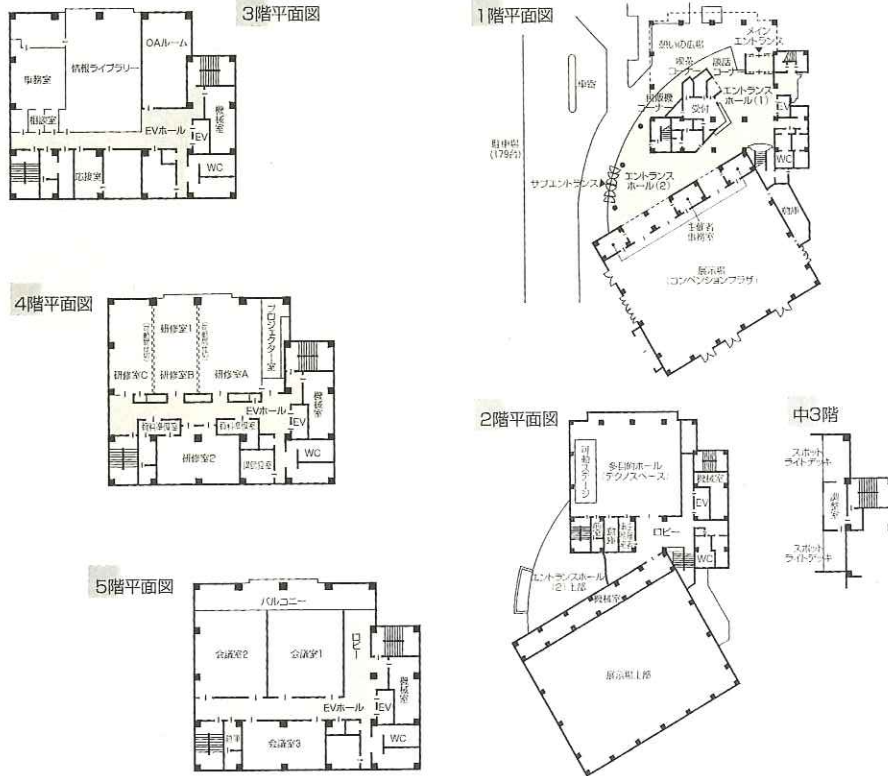
施設の使用料

使用区分	午前	午後	夜間	午前・午後	午後・夜間	全日	超過使用料
	午前9時から正午まで	午後1時から午後5時まで	午後6時から午後9時まで	午前9時から午後5時まで	午後1時から午後9時まで	午前9時から午後9時まで	
展示場	31,300円	41,800円	31,300円	73,100円	73,100円	104,400円	5,300円
多目的ホール	20,100円	26,800円	20,100円	46,900円	46,900円	67,000円	3,400円
O Aルーム	7,200円	9,600円	7,200円	16,800円	16,800円	24,000円	1,200円
研修室1 (全面)	10,600円	14,100円	10,600円	24,700円	24,700円	35,300円	1,800円
研修室1A	4,300円	5,800円	4,300円	10,100円	10,100円	14,400円	800円
研修室1B	3,200円	4,200円	3,200円	7,400円	7,400円	10,600円	600円
研修室1C	3,200円	4,200円	3,200円	7,400円	7,400円	10,600円	600円
研修室2	3,300円	4,400円	3,300円	7,700円	7,700円	11,000円	600円
会議室1	7,400円	9,900円	7,400円	17,300円	17,300円	24,700円	1,300円
会議室2	4,600円	6,100円	4,600円	10,700円	10,700円	15,300円	800円
会議室3	3,000円	4,000円	3,000円	7,000円	7,000円	10,000円	600円

備考

- (1) 営利を目的として入場料、受講料等を徴収する場合又は展示即売を行う場合の使用料は、上記使用料の2倍とします。
- (2) 特別に電気、水道等を利用するときは、使用料のほか、光熱水費の経費について実費を徴収します。
- (3) 時間を超えて使用するときは、超過使用料を徴収します。この場合において、その使用料に30分未満の端数があるときは、これを30分に切り上げて計算します。
- (4) 使用料は前納して下さい。

施設平面図



明石市立産業交流センター

施設紹介

明石市立産業交流センターを多くの方々にご利用していただくため「あいこく・にゅーす」の紙面を通して施設の紹介をします。

施設概要

施設名	面積	席数
1F 展示場 (コンベンションプラザ)	872m ²	—
見本市や展示会、新製品発表会・即売会や集会などに利用できるイベントホールです。照明装置、音響装置を完備しています。		
施設名	面積	席数
2F 多目的ホール (テクノスペース)	419m ²	イスだけの場合 252席 イスと机の場合 216席
各種交流フェア、レセプション、シンポジウム、映画など、幅広い利用が可能です。映像、音響、照明などを利用目的に合わせて制御できる附帯設備を備えています。		
施設名	面積	席数
3F OALーム	80m ²	OA機器 19台 (受講者用 18台) (指導者用 1台)
パソコン・ワープロなどのOA研修専用の施設です。		
施設名	面積	席数
情報ライブラリー	—	—
経営や技術関連の専門図書・雑誌・行政資料などが自由に閲覧できます。また、データベースによる情報提供や研修用ビデオソフトの貸し出しもしています。		

施設名	面積	席数
4F 研修室 1	253m ²	イスと机の場合 144席
研修室 1A	104m ²	// 60席
研修室 1B	74m ²	// 39席
研修室 1C	74m ²	// 39席
研修室 2	80m ²	// 42席
各種研修の場として活用できます。 (研修室 1) 各種映像・マイク設備を備えており、映像機器を利用した多様な研修に対応できます。また、可動間仕切りにより3分割使用もできます。		
施設名	面積	席数
5F 会議室 1	119m ²	イスと机の場合 28席
会議室 2	110m ²	// 32席
会議室 3	72m ²	// 20席
会議室専用のフロアーです。市内企業や各種団体の会議や打合せなどに利用できます。会議室 1には各種映像、マイク設備を備えています。		

編集後記

▲皆様のお陰をもちまして、「AICCニュース」第1号をお届けすることができました。
 ▲今回は創刊記念号で内容的には財団法人概要、施設紹介などが中心となっています。広報誌としての実質的な定期発行は1月からとなります。
 ▲皆様方のご協力をいただきながら編集体制を整え、親しまれ役立つ広報誌作りを心掛けていく所存です。
 ▲題字の「AICC」は、AKASHI INDUSTRY COMMUNICATION CENTERの頭文字を表しています。
 ▲財団設立には多くの企業、団体の方々からご寄附をいただいております。改めて御礼申し上げます。皆様方から寄せられたご期待に応えるべく、役員・職員一同全力を尽くして職務に携わる決意ですので、今後ともよろしくご支援くださいますようお願い申し上げます。

AICC NEWS 第1号
 発行日 1998年(平成10年)11月12日
 発行 財団法人 明石市産業振興財団
 明石市大久保町ゆりのき通1丁目4番地の7
 (明石市立産業交流センター内)